



## 教育目標とマラソン記録会

H29. 10. 16 坂井

3回に渡って、住吉小学校の教育目標について一緒に考えてまいりましたが、今回は、3つめの要素「たくましい子ども」を取り上げ、最終回とします。

突然ですが、お子さんにはどんな子に育てほしいと願っていますか。様々なお答えが聞こえてきそうです。その一つは、「たくましい子」ではないかと思います。心身共に元気に育てほしい。多くの親御さんは、そのように願っていることと思います。

学校では、10月6日にマラソン記録会が開催されました。たくましさの一つの姿を、子どもたちが懸命に走る姿に見る思いがしました。



運動が得意になる。丈夫で立派なからだをつくる。このことは、間違いなくたくましさの一つでしょう。私は、子どもたちが懸命に走っている様子から、様々な活動で見られる「あきらめずに最後まで頑張る気持ち」「自分に負けないこと」がたくましさかなと、改めて思うようになりました。

以前紹介しましたが、夏休みのラジオ体操後にマラソン練習をする6年生や、休憩時間になるとグラウンドに出て進んで練習をする子がいました。10月の学校だよりで紹介したように、マラソン記録会当日には、順位を上げて喜ぶ姿、ゴール間際に転倒するほど頑張る子、くやしくて泣きじゃくる子もいました。そして、互いに支え合う仲間もいました。

マラソン記録会一つをとっても、教育目標「助け合い、進んで学習するたくましい子ども」の姿がありました。3つの要素「助け合うこと」「進んで学ぶこと」「たくましさ」があるのです。この3つが、プラスに作用しながら様々な活動が行われます。学校では、これからもすべての行事、すべての教育活動で、教育目標の具現を目指します。

学校だより10月号でお伝えしますが、教育の効果を上げるためには、子どもたちに関わるすべての大人が輪になって子どもを支えること、子どもたちが言葉の力を駆使しながら学びを進めることが大切です。今後、10月28日予定の創立40周年記念の学習発表会をはじめ、秋の行事が続きます。日々の学習も充実する時期です。引き続きよろしく願います。

.....

実りの秋。我が家でもサツマイモを収穫。今年は、どの芋もご覧のようなカボチャのような形に。どうしてこうなったのか、教えていただきたいです。



